

## 平成22年度連盟の運営にあたって

静岡県高等学校体育連盟会長 植田 質

新緑の4月、平成22年度は始まりましたが、昨年の政権交替の上に静岡県の社会は経済状態の不況もあり、落ち着いた望ましい状況にはありません。4月15日に県高体連評議委員会で会長の承認を受けました伊東高校長の植田です。副会長・副支部長の7人の校長先生等とともに、この難局を夢ある方向に向け、乗り切りたいと思っております。

昨年度は大会・事業ともに順調に終了し、高校生の体力や大会の結果等で素晴らしい成績を挙げてくれた高校生とご指導いただいた先生方に心から感謝申し上げます。昨年は新型インフル感染防止対策で、各専門部をはじめ多くの協力をいただきました。お陰で重篤な状態にならず何とか感染防止対策が成功したと考えておりますが、私どもは、今後も警戒をしてまいります。また連盟の大会運営組織全体に賠償責任保険と指導者・役員に傷害保険を整備できたことは、選手・役員や連盟にとっては大きな安心とともに組織の安定に大きな改善となりました。今後とも制度の周知をはかり役員の皆様に安心をお届けしたいと考えております。また競技力の面では、陸上競技・登山・ボート・空手・定通制陸上競技などが素晴らしい成績を収め、全体的にも良い結果だったと思います。県内高校生の運動部活動を指導されている先生方や元気をくれた選手諸君にお礼を申し上げたいと思います。

本年度も昨年に増して良い成績で全国の高校生たちに、「元気な静岡」を発信するようお願いしたいと思います。さらに全国的に上位の静岡県高校生の新体力テスト結果からくる体力向上対策等についても調査研究委員会を中心に全国の高校生に静岡方式高校生体力向上策として発信していけたらと考えております。

さて本年度も深刻な経済不況の中で、高校生のスポーツ活動を推進するわけですが、数年後にせまった少子化時代も視野に入れ、連盟全般に運営方針を再点検し、今後の高校生のためにも活動の場を確保する方策を考えていかなければなりません。全国高体連では、すでに経済的裏づけが課題となっており、県高体連としてもこの問題を避けられない状況にあります。財政検討委員会をたちあげ県高体連においても何が可能なのか発案をしてまいります。すべての高校生が健康であって体力が向上し、人として生きていく上で必要な人格の完成を目指して県高体連の運営をしていきますので、ご支援のほどお願い申し上げます。